

# 市鍼だより

令和5年7月 第1号



## [ 目次 ]

ごあいさつ	那須賢士郎	2
定時社員総会報告	牧原 敏治	3
活動方針並びに事業計画	那須賢士郎	5
鹿児島市保険鍼灸師会	右田 善信	8
学研報告	吉村 章治	10
施術所訪問記(第7回)	牧原 敏治	11

一般社団法人 鹿児島市鍼灸マッサージ師会

## ごあいさつ

会長 那須賢士郎

盛夏の候、時下ますます清祥の段、お慶び申し上げます。平素は本会の事業に対してご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年度の事業内容としては、新型コロナウイルスの為に、敬老奉仕活動・新年会・鹿児島マラソンのボランティア活動を行うことが困難で中止となりました。

今年度の主な行事としては、5月には鹿児島市保険鍼灸師会の50周年記念式典が開催されました。会を50年間存続されていることに感動しました。10月には鹿児島国体と全国障害者スポーツ大会が開催されます。近年このようなスポーツボランティアに対する専門的な知識や技能が求められてきており、私たちもそれに対応できる体制を築かねばならないと思っております。

敬老奉仕は、新型コロナウイルスも5月から季節性インフルエンザと同じ5類感染症となりましたが、施設でのマッサージを行うのは難しい状態です。今年度は町内会での奉仕を考えておりません。

はり・きゅう施設利用券に関しては、今年度も現状維持を確保できました。この状態がいつまでも続くように、日頃から施設利用券の維持を念頭に取り扱っていただけたら幸いです。

最後に今年一年、皆様お一人おひとりの健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

## 令和5年度定時社員総会報告

事務局 牧原敏治

令和5年4月9日(日)、かごしま県民交流センター4階大研修室第4にて、鹿児島市鍼灸マッサージ師会定時社員総会を開催致しました。政府は現在のコロナ感染症を5月8日より季節性インフルエンザなどと同じ[5類]へ移行する方針で3月13日以降はマスクの着用については、屋内・屋外を問わず個人の判断に委ねる方針を決定しましたが、当総会にては、感染予防の為にマスクの着用をお願いしました。

当日の会員出席者は17名で、60名の委任状が有りました。これらを合わせると77名となり、会員数104名の半数を超えており、定款第3章(社員総会)18条(決議)により、総会は成立致しました。また当日は、下鶴市長名代 鹿児島市保健所長 新小田雄一様、当会の顧問で鹿児島市議会議員の志摩れい子先生と県鍼灸マッサージ師会(以降県鍼師会と表記)会長の大勝孝雄先生にご臨席頂きました。



総会は、下記の次第に則り進められました。

- ① [出席者確認]
- ② [開会宣言]
- ③ [先輩物故者への黙祷]
- ④ [表彰]

昨年、鹿児島市技能功労者賞を受賞された松元健一先生に、  
当会より顕彰者として感謝状を贈呈致しました。

⑤ [会長挨拶]

⑥ [来賓挨拶]

市長名代の新小田雄一様、当顧問の志摩れい子先生と県鍼師  
会の大勝孝雄会長より祝辞を頂きました。

⑦ [議長、副議長選出]

議長は松元健一先生に、副議長は川畑裕人先生に務めて頂き  
ました。

⑧ [議事]

**【令和4年度 報告事項】**

イ、会務並びに事業実施概況報告

ロ、一般会計収支決算報告

ハ、監査報告

**【審議事項】**

ニ、令和4年度に係わる報告事項の一括承認の件

ホ、令和5年度の活動方針並びに事業計画案及び収支予算案  
の承認の件

へ、その他

政治団体 鹿児島県鍼灸マッサージ師連盟が令和5年1月5  
日に設立された旨の報告を、当連盟の会計責任者をされてい  
る県鍼師会の理事 松元健一先生より報告がありました。そし  
て、当業界、当会の発展の為に皆さんの今後の政治活動への  
理解と協力を呼び掛けられました。

次に、鹿児島市保険鍼灸師会会長の右田善信先生より、5月  
21日(日)の当師会の総会と50周年記念式典への参加を皆さ  
んに呼びかけられました。また、離島の三島村より、鍼灸マ  
ッサージ師の派遣の要請なども来ているので、皆さんに参加  
して頂くように呼び掛けられました。

ト、[役員改選]

任期満了により、役員改選を行いました。選挙管理委員には議長、副議長を務めて頂いた松元健一先生と川畑裕人先生に、引き続き務めて頂きました。

【理事】に立候補した中村みゆき先生と6人の重任の計7名は、会場の満場一致で承認を得ました。中村みゆき（新任）、那須賢士郎(重任)、上ノ園高行(重任)、吉村章治(重任)、川崎史絵(重任)、田之上誠弥(重任)、牧原敏治(重任)。【監事】に立候補した2人の先生も会場の満場一致で承認を得ました。本藏典三(重任)、永田泰彦(重任)。

⑨ [閉会宣言]

以上、総会の報告をさせていただきます。



## 活動方針並びに事業計画

### ※ 活 動 方 針

- 1、事務局＝組織の拡充を図り、会員相互の連携を深め協調力高めよう。
- 2、総務部＝会務の円滑な運営を図り、上部団体との協調並びに対外との交流に努めよう。

- 3、経理部＝会費の速やかな徴収を図り、各種事業の円滑な推進に努めよう。
- 4、学術部＝会員相互の学技の練磨並びに治療家としての資質向上に努めよう。
- 5、情宣部＝会員相互の連携を深め、三療の普及や情報収集に努めよう。
- 6、事業部＝会員相互の連携を深め、啓発に努めよう。
- 7、業権部＝会員の自覚と協力を求め、業権の擁護・拡大に努めよう。

## 事業計画

### 「1」事務局

#### 各種会議の開催

- ア、総会 令和5年4月9日(日)
- イ、理事会 令和5年4月9日(日)・7月22日(土)・  
11月18日(土)・令和6年2月17日(土)
- ウ、五団体懇話会 令和6年1月7日(日)
- エ、監査会 令和5年4月1日(土)
- オ、HPコンテンツ会議 第3土曜日/毎月

#### その他

- ア、鹿児島市健康づくり推進市民会議総会 8月未定
- イ、鹿児島市技能功労者賞・青年優秀技能者賞受賞式  
11月未定

### 「2」総務部

#### かごしま市民すこやかプランの推進

#### 業態別・一般健康診断(いきいき受診)の促進

#### 入退会・住所変更などの手続き、関係各所への報告

### 「3」経理部

#### 会費の徴収、各種帳票の記帳、各種事業の支出に対しての管理

「4」 学術部

学術研修会の開催 6月25日(日)

「5」 情宣部

市鍼だよりの発行 7月・令和6年2月

ホームページの活用 内容の充実を図り、わかり易さに努める。

ア. HP コンテンツ会議の開催 第3土曜日/毎月

「6」 事業部

啓発活動の促進

ア、敬老奉仕活動の実施 9月10日(日)

イ、その他 市民健康まつり 7月16日(日)

特別全国障害者スポーツ大会 10月28～30日

鹿児島マラソン 令和6年3月3日(予定)

親睦会の開催

ア、新年会 令和6年1月13日(土)

「7」 業権

違法行為の監視強化

ア、ホームページを活用し、市民が施術を受けやすい環境作りに努める。

イ、厚生労働大臣免許保有証の所持の促進に努める。

《令和5年》

4月1日(土) 監査会

4月9日(日) 定時社員総会・第1回理事会

5月21日(日) 鹿児島市保険鍼灸師会総会

6月25日(日) 学術研修会(第2回生涯研修会)

7月16日(日) 啓発活動(市民健康まつり)

7月22日(土) 第2回理事会

7月下旬 市鍼だより7月第1号発送

8月未定 鹿児島市健康づくり推進市民会議総会

9月10日(日) 敬老奉仕活動

10月28～30日(土～月)

啓発活動(特別全国障害者スポーツ大会)

11月未定 鹿児島市技能功労者賞・青年優秀技能者賞受賞式

11月18日(土) 第3回理事会

《令和6年》

1月7日(日) 五団体懇話会

1月13日(土) 新年会

2月中旬 市鍼だより2月第2号発送

2月17日(土) 第4回理事会

3月3日(日) 啓発活動(鹿児島マラソン)

## 鹿児島市保険鍼灸師会

会長 右田 善信

令和5年5月21日に県民交流センターで鹿児島市保険鍼灸師会創立50周年記念式典と定期総会が開催されました。市鍼師会会長他会員の皆様方のご協力のもと、大勢参加していただき盛況な式典になり無事終了することができました。この機会をお借りしまして御礼申し上げたいと思います。





また、定期総会に於きまして役員改選がありました。もう一期会長の責務を果たしたい思いで立候補いたしました。新執行部会長 右田善信、副会長 中藪健一、境田順次、理事 有馬智志、永田泰彦、東直樹の 6 名、監事 今村茂、大串昭子で 2 年間頑張っていますので何卒ご協力のほどよろしくお願いいたします。

顧みますと鹿児島市国民健康保険での「はり、きゅう施設補助事業」が制度化されたのが昭和 47 年 5 月でした。同月、鹿児島市保険鍼灸師会が立ち上がりました。そして 6 月 1 日より補助事業が開始され、50 年前の昭和 47 年の「はりきゅう券」の補助額は 180 円でした。平成 12 年までに 10 回増額され補助額 1,100 円となり現在に至っております。

平成 20 年 4 月には鹿児島市の後期高齢者に「はりきゅう施設補助事業」が始まりました。補助額は 1,100 円で開始され、現在も継続中です。



なお、昭和 53 年に十島村と「はり、きゅう施設利用補助事業」の協定を結び、同年 3 月より補助額 1,200 円、年 30 回が現在も継続されています。

全国では西日本を中心にはりきゅう補助事業が盛んに行われていますが、中でも鹿児島市の補助額の多さと年 60 回という回数多さは全国でも上位に入り、九州では一、二番となっております。これを組織一団となりはり、きゅう施設補助事業が低迷し

ないよう盛り上げていきましょう。

また、十島村、三島村への鍼灸師派遣事業におきましては島民の健康保持増進にも大いに寄与していると思っております。3年ぶりに両村とも鍼灸師派遣の依頼が入ってきました。両村とも2泊3日の予定で組んでおります。若い鍼灸師の皆さま島民の喜ぶ表情を思い浮かべながら参加してください。

最後に、5月に強い勢力の台風2号が発生日本列島にも影響を与えました。まさに異常気象が加速しているように見えます。5月に30度の真夏日はこれまでに体感したことがないように思います。会員の皆様には体調を整え市民の健康増進に一層努力していただくことを祈念いたします。

## 第一回生涯研修会の報告

学術部 吉村章治

先月6月25日(日) かがしま県民交流センターにて、県鍼灸マッサージ師会と共催で学術研修会（ZOOM併用）を行いました。講師は、はり・きゅうマッサージ中医鍼灸「すこやかな森」院長若杉 寛（ワカスギ ヒロシ）先生をお迎えして、講演と実技指導を行っていただきました。

演題は「筋膜性腰痛はほぼ完治できる！腰痛の治療法中医学的な知見を含めた40年の臨床経験から」で、中医学の観点から腰痛や他傷病の治療方針「証」の決定プロセス、そのための症状の鑑別、強弱、緩急、悪化原因と緩解誘因また、硬結の有無や種類の詳細な説明、そして「証」からの具体的な治療手技の解説使用する鍼の大きさ長さ、その効能、具体的な刺鍼部位の解説がありました。

午後からは、午前中講演で説明があった、手技の個別指導があり、手技指導では、3寸8番など、やや大きめの鍼を使用しての実技

でしたが、意外と痛みもなく、響きも心地よい感じでした。  
今回は、学生にも声をかけており、多くの学生さんも参加  
しておられました。



## [施術所訪問記] (第7回) ほっこく鍼灸院

取材：牧原敏治

取材日：2023年（令和5年）4月25日（火）

施術所：〒890-0054 鹿児島市荒田 1-32-3-1F

TEL. 099-286-1099

ほっこく鍼灸院

北國 善太先生



ほっこく鍼灸院は、道を挟んで鹿児島税務署のすぐそばに位置し、近くには公園もありとても閑静な場所に有ります。治療院の中はとても広く、お子様連れの方でも安心して過ごせる待合室、ゆとりのある受付・事務関係のコーナー、広々とした施術室とまさに理想的な治療院となつていると感じました。

先生は、1973年（昭和48年）に誕生され、現在49歳でいらっしやいます。高校を卒業後、明治鍼灸大学（現：明治国際医療大学）へと進学され、大学卒業後は、愛知県名古屋市に有る明生鍼

灸院へ就職されました。この治療院は、婦人科疾患（不妊症・不育症）に特化した治療を行っており、またそれらを学会で発表したり、講演をしたりされていきました。日々の治療やそれらの発表の準備、スタッフの教育なども担っていたので、一日の睡眠時間が平均2～3時間だったそうです。

その後、帰鹿されて2004年（平成16年）に独立開業されました。そして名古屋で修行された治療を先生は続けられています。毎月10～15人の方から妊娠の報告を受け、これまで2,500組以上のカップルが出産されたそうです。その内、1,000人以上の方が、40代以上だったとのこと。開業当初、このような治療を行っている所が無かったので、全国各地だけでなく、イギリス、アメリカ、オーストラリアなど海外からもたくさん来院されていたそうです。しかし、このコロナ禍で国外はもちろんのこと、県内外の患者さんも激減したそうです。

現在来院されている患者さんの7割程が婦人科疾患で、残りの3割がその他の疾患で来られているそうです。先生は東洋医学はもちろんのこと、現在も産婦人科医が中心の日本生殖医学会に所属されており、西洋医学の方の勉強も続けていらっしゃいます。先生の治療法は、全身調整法で、1寸0番の鍼のみを使用し、標治法ではステンレス鍼を、本治法では銀鍼のそれぞれディスプレイ鍼を使用されています。そして刺鍼の深さも、切皮程度の深さでもとても弱い刺激で治療されているとのことでした。そしてお灸の施術も症例に応じてされています。施術に掛ける時間は、20～25分程とのこと。

診療は予約制となっています。



#### ●【診療時間】

月～金（午前）9:30～13:30  
（午後）16:30～19:30  
土（午前）9:30～13:30  
〈休診〉日曜日、祝日

ほっこく鍼灸院のホームページは、とても丁寧に詳しく作成されていますので、初めての方も、ホームページを読まれると、安心して来院出来るのではと思いました。また受付には女性スタッフがおり、昨年より鹿児島鍼灸専門学校卒業生の女性スタッフも加わり、和やかな雰囲気作りを心掛けて常駐されていますので、さらに安心して来院出来るのではと思います。

先生にご趣味をお尋ねしたところ、今の仕事が趣味みたいなものですよと言うことでしたが、強いて言えば、小・中・高・大学とサッカーをやったのでスポーツ観戦だそうです。またこれからの夢は、自分がこれまで培って来た施術を出来るだけ多くの皆さんに伝え広めて行けたらと言うことでした。





発行所 (一社) 鹿児島市鍼灸マッサージ師会 情宣部  
(公社) 鹿児島県鍼灸マッサージ師会館内  
〒 890-0015 鹿児島市草牟田町8-4